

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（1・3・4・7組：平原敬大）（2・5・6・8組：森永千帆）

使用教科書：（現代の国語（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>「生きもの」として生きる(中村 桂子)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明する。 筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書く。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 例示などの修辭を理解する。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 <p>・教材…「生きもの」として生きる(中村 桂子)</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。 	○	○	○	3
<p>「本当の自分」幻想(平野啓一郎)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。 積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書く。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 <p>・教材…「本当の自分」幻想(平野啓一郎)</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。 	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 数	
			話・聞	書	読						
1 学 期	砂に埋もれたル・コルビュジェ（原田マハ） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。 ・本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとする。	・指導事項 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…砂に埋もれたル・コルビュジェ（原田マハ） ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとしている。					3
	話し方の工夫 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとする。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとする。 ・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとする。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。	・指導事項 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 ・教材…話し方の工夫 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。					3
	定期考査										1
	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。	・指導事項 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…水の東西（山崎正和） ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。					4

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・ 聞	書	読					
<p>論理分析【対比】 「間」の感覚（高階秀爾）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとする。</p>	<p>・指導事項 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・教材…「間」の感覚（高階秀爾） ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>待遇表現</p> <p>【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>・指導事項 ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようにする。</p> <p>・教材…待遇表現 ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
<p>論理分析【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二・三」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、「いる」と「ある」の違いを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。</p>	<p>・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・教材…日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎） ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二・三」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、「いる」と「ある」の違いを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。</p>	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
	<p>無彩色の色 (港千尋)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明する。 本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深める。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 <p>・教材…無彩色の色 (港千尋)</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。 本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めようとしている。 					3
	<p>論理的な表現</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使用する。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫する。 読み手の理解が得られるよう、根拠の示し方や論理の展開などを考えて、文章の構成や展開、表現を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合う。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 説得力を意識した表現の仕方について理解する。 <p>・教材…論理的な表現</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使っている。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。 読み手の理解が得られるよう、根拠の示し方や論理の展開などを考えて、文章の構成や展開、表現を工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。 					3
	定期考査									1
2 学 期	<p>現代の「世論操作」 (林香里)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 <p>・教材…現代の「世論操作」 (林香里)</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。 					3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
	<p>夢十夜（夏目漱石） 文学のしるべ</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとする。</p>	<p>・指導事項 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…夢十夜（夏目漱石） ・一人1台端末の活用 等</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとしている。</p>					3
	<p>論理分析【推論】 AIは哲学できるか（森岡正博）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとする。</p>	<p>・指導事項 ・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材 AIは哲学できるか（森岡正博） ・一人1台端末の活用 等</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。</p>					3
3 学期	<p>日本の労働問題に関わる資料を読み比べる</p> <p>【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめる。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめる。</p>	<p>・指導事項 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけ理解したことをまとめる。 ・文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・図表等を読み、理解したことをまとめる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する。 ・教材…日本の労働問題に関わる資料を読み比べる ・一人1台端末の活用 等</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとする。</p>					3

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・ 聞	書	読					
<p>相手に伝わる案内をする</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴などを踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解し使用する。 情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使用する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫する。 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じる。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話す。 積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 相手に配慮しながら案内する方法を理解する。 相手や場の状況を押さえて案内することができる。 <p>・教材…相手に伝わる案内をする ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴などを踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解して使っている。 情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫している。 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価しようとしている。 	○	○	○	4
<p>合意形成のための話し合いを行う</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解し使用する。 情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使用する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成を工夫する。 資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 話し合いを振り返り、評価する。 話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解する。 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出す。 積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 話し合いの進め方のルールを理解する。 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。 <p>・教材…合意形成のための話し合いを行う ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解して使っている。 情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成を工夫している。 資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 話し合いを振り返り、評価している。 話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。 積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価しようとしている。 	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
									合計
									70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（2・5・6・8組：平原敬大）（1・3・4・7組：福井妙子）

使用教科書：（言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		話	書	読						
<p>古文の学習</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 我が国の言語文化の特質について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつ。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 <p>・教材・古文の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 等 	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつとしている。 		○	○	2	
<p>児のそら寝</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 <p>・教材・児のそら寝</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 等 	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 		○	○	○	4
<p>羅生門（芥川龍之介）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとする。 	<p>・指導事項…下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。</p> <p>・教材…羅生門（芥川龍之介）</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 等 	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取っている。 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 		○	○	○	6
<p>定期考査</p>						○	○		1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話 聞	書	読					
徒然草	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 「花は盛りに」では課題に応じて調査する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 主として敬語について文語のきまりを理解する。 <p>・教材…徒然草 ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うとしている。 	○	○	○	4
古今和歌集	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 掛詞・縁語・見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 和歌という文章の種類を踏まえて、内容的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 <p>・教材 古今和歌集 ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 掛詞・縁語・見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉えている。 和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 	○	○	○	3
言語活動 古典の和歌を現代の言葉で書き換える	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 我が国の言語文化の特質について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換える。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う。 我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 <p>・教材 言語活動 古典の和歌を現代の言葉で書き換える ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えるようとしている。 	○	○	○	3
定期考査									1	
平家物語	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として敬語について文語のきまりを理解する。 「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 <p>・教材…平家物語 ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。 軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話 聞	書	読					
3 学 期	<p>こころの帆</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・俳句の形式や表現をすすんで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しむ。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。</p>	<p>・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>・教材…こころの帆 等 ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・俳句の形式や表現をすすんで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>言語活動 折句を用いて短歌を作る</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・すすんで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作する。</p>	<p>・指導事項 ・折句を用いて、感じたことを短歌で表す。 ・我が国の言語文化に特徴的な折句の表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>・教材…言語活動 折句を用いて短歌を作る 等 ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・すすんで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>城の崎にて（志賀直哉）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとする。</p>	<p>・指導事項…三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。</p> <p>・教材…城の崎にて（志賀直哉） 等 ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>唐詩の世界</p> <p>【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明する。</p>	<p>・指導事項 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。</p> <p>・教材 唐詩の世界 等 ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。</p>	○	○	○	2
定期考査									1	
									合計	
									70	

府中西 高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 理科

科目 化学基礎

教科：理科

科目：化学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：(2.4.5.7.8組：小島賢次)

(1.3.6組：須藤美枝)

(組：) (組：)

使用教科書：(高等学校 化学基礎 (第一学習社))

教科 理科

の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、化学的に探求しようとしている。

科目 化学基礎

の目標： 物質とその変化に関わり、観察・実験を通して、化学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、化学的に探求しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、物質を対象とする学問である化学の特徴について理解する。	化学と人間生活	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○		○	2
	身近な物質を取り上げ、混合物の分離などから、実験の基本操作を身につける。単体や化合物について理解する。 粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係により、物質の状態変化が起こることを理解する。	物質の成分 物質の構成元素 状態変化と熱運動	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	5
	定期考査						
	原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。 元素の周期律及び電子配置と周期表との関係について理解する。 イオンの生成を理解する。	原子の構造 イオン 元素の相互関係	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	8
	イオン結合が静電的な引力によることや、イオン結合でできた物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解する。また、それらの物質の性質を理解する。 金属結合の仕組みとそれらの物質の性質を理解する。	イオン結合 共有結合 金属結合 結晶の比較 結晶と単位格子	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	10
定期考査							
2 学 期	粒子の数にもとづく量の表し方である物質量の概念を導入し、物質量と質量、気体の体積の関係について理解する。 化学反応に関する実験などを行い、反応式が反応に関与する物質と量的関係を表すことを理解する。	原子量・分子量と式量 物質量 溶解と濃度	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	10
		化学変化と化学反応式 化学反応の量的関係 化学変化における諸法則	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	15
3 学 期	酸や塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係について理解する。	酸と塩基 水素イオン濃度 中和と塩 中和滴定	行動観察 発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	10
	酸化還元反応が電子の授受によるこ	酸化と還元	行動観察				

77)とを理解する。	酸化剤と還元剤の反応 酸化還元の量的関係 金属のイオン化傾向 電池 金属の製錬 電気分解	発問評価 ノート提出 実験プリント 小テスト 定期考査	○	○	○	10
						合計
						70

府中西 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：（高等学校 新課程 生物基礎（第一学習社））

教科 理科 の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現象を理解し、観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

No.	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 観察1 さまざまな生物を観察して共通する特徴を探そう 実験1 DNAの抽出 ②生物の共通性の由来 資料1 脊椎動物を例に生物が共通する特徴をもつ理由を考えよう	生物の共通性と多様性 ・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	2
	2. 生物とエネルギー ①生物とエネルギー 資料2 光の有無が植物の生育に与える影響について考えよう ②代謝とATP 資料3 ATPの役割について考えよう ③代謝と酵素 実験2 酵素カタラーゼの働き	細胞とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	10
	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝子の本体と構造 ①遺伝情報とDNA 資料4 DNAの塩基どうしの結合にみられる特徴について考えよう 演習1 DNAの分子モデルを作製してみよう ②DNAの複製と分配 資料5 DNAの複製のしくみを考えよう 演習2 DNAの半保存的複製を再現してみよう 観察2 細胞周期の各時期にかかる時間の推定	・DNAが全ての生物が共通してもつ遺伝子の本体であることを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	8
	2. 遺伝情報とタンパク質 ①遺伝情報とタンパク質 資料6 DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を考えよう ②転写と翻訳 演習3 mRNAが指定するアミノ酸配列を読み取ってみよう ③遺伝子とゲノム 観察3 だ腺染色体の観察	・DNAの遺伝情報はRNAを経て、タンパク質となることを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	10
2 学期	第3章 ヒトのからだの調節 1. 情報の伝達と体内環境の維持 ①恒常性と神経系 実験3 踏み台昇降運動を行って、心拍数の変化を測定しよう ②恒常性と内分泌系 ③体内環境を調節するしくみ 資料7 血糖濃度とホルモン濃度の関係を考察しよう 資料8 血糖濃度の調節と自律神経系の関わりについて考えよう ④血液凝固	体液には血液・リンパ液・組織液があり、体内環境を形成していることを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	10
	2. 免疫 ①生体防御 資料9 白血球の働きについて考えよう 観察4 食作用の観察 ②自然免疫 ③獲得免疫 資料10 同じ感染症にかかりにくい理由を抗体産生量の変化から考えよう 演習4 免疫の流れを説明してみよう ④自然免疫と獲得免疫の特徴 ⑤免疫と生活	・生体防御の仕組みについて様々なものがあることを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	10
3 学期	第4章 植生と遷移 1. 植生と遷移 ①植生と環境の関わり 観察5 植生と光・土壌の関係を調べよう 観察6 陽葉と陰葉の断面の観察 ②遷移のしくみ 資料11 伊豆大島の調査結果から遷移の要因を考察しよう 2. バイオーム ①遷移とバイオーム 資料12 バイオームの分布を決める要因について考えよう(1) 資料13 バイオームの分布を決める要因について考えよう(2)	・陸上には気候に応じて様々な植生が存在していることを知り、その植生が不変でないことを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。	○	○	○	10
	第5章 生態系とその保全 1. 生態系と生物の多様性 ①生態系の成り立ち 観察7 土壌生態系を構成する生物とその環境について調べよう	・生態系は生物と非生物的環境からなることと、その中で炭素や窒素などの物質が循環していることを知る。	【知識及び技能】 ・単元の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理解した内容を用いて、現象を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	10

<p>観察 8 環境の違いと種の多様性に関連があるか調べよう ②生態系における生物どうしの関わり 資料14 上位の栄養段階の生物が生態系に与える影響について考えよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・実験、観察の仕方が理解できる。 ・ノート、プリント、問題集等の提出を確実に 行う。 	○	○	○	合計 70
--	--	---	---	---	---	----------

府中西 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当：(1～8組：浅井) (1～8組：荒木・坂本) (1～8組：野口)

使用教科書：(現代高等保健体育(大修館))

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指す、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	・体ほぐしの運動 緊張したり、緊張を解いて脱力したりする運動を行い、気持ちや関わりあつたりする。 ・実生活に生かす運動の計画 運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めるための運動の計画を立てて取り組む。	(知識・技能) 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながることを理解できる。 (思考・判断・表現) 仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 (態度) 体づくり運動の学習に自主的に取り組み、運動計画を立てるなどの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	6
	陸上競技(三種競技) 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。	(走) 50m走 (投) ハンドボール投げ (跳) 立ち幅跳び の三種目についての技能の習得と記録会	(知識・技能) 陸上競技で用いられる技術の名称と、記録向上につながる動きのポイントを理解することができた。 (思考・判断・表現) 動きの習得に適した練習方法を選び、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。 (態度) 危険を理解して安全に留意して実施し、勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って活動することができた。	○	○	○	6
	武道(柔道・剣道) 伝統的な考え方や、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開できるようにする。	・立礼、座礼を含む剣道特有の礼法を習得する。 ・竹刀の持ち方、中段の構え、足さばき(送り足)を体得する。 ・その場で面の打ち方、足さばきを使つての面の打ち方を体得する。	(知識・技能) 武道を学ぶことの意義、礼法や技の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。 (思考・判断・表現) 伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について自分や仲間の活動を振り返ることができた。 (態度) 伝統的な行動を大切に、相手を尊重し称え、助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	10
	球技(バレーボール) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返す ・チームの作戦に応じたゲーム練習	(知識・技能) バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。 (思考・判断・表現) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができた。 (態度) 分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	10
	水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	クロール・平泳ぎ ・水をとらえたプルとリズムミカルなキックの練習 ・手を前に戻すリカバリーと抵抗の少ない足の引き付けとキック ・0～200m程度の距離を泳ぎながらのコンピネーション	(知識・技能) 水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習したり、計画を立てることができる。 (態度) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	8
2 学 期	球技(テニス) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作(サーブ・ストローク) ・作戦に応じたゲーム練習	(知識・技能) テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 (態度) 分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	10
	武道(柔道・剣道) 伝統的な考え方や、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開できるようにする。	・小手、面、胴の基本打突を送り足や踏み込み足ができるようにする。 ・剣道具を装着して、実際に小手面胴を打ち込む ・打突する人は真剣に打突される側は打ちやすいように等、相手を考えた行動をとれるようにする。	(知識・技能) 武道を学ぶことの意義、礼法や技の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。 (思考・判断・表現) 伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について自分や仲間の活動を振り返ることができた。 (態度) 伝統的な行動を大切に、相手を尊重し称え、助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	12
	球技(ラグビー) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・基本動作であるパス/キャッチ/レシーブ/サイドステップの技術の体得 ・チームメイトと協力して動きながらパス等を継続して前進していく。 ・スペースを作り、カットイン、カットアウトなどの戦術に取り組む。	(知識・技能) ラグビーの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。 (思考・判断・表現) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができた。 (態度) 分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。	○	○	○	12
体育理論 スポーツの発祥と発展 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解できるようにする。	・スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境	(知識・技能) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 (思考・判断・表現) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 (態度) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について自主的に取り組むことができる。	○	○	○	6	
3 学 期	陸上競技(長距離走) 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、長距離走の技能を身につけることができるようにする。	時間走を約3000mのタイムトライアル自己に適したペース走の練習 目標タイムの設定とスピード走の練習と記録会	(知識・技能) 長距離走に必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 (思考・判断・表現) これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 (態度) 自分の役割に主体的に取り組み、練習や競争、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	15
	武道(柔道・剣道) 伝統的な考え方や、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開できるようにする。	・小手、面、胴の基本打突を送り足や踏み込み足ができるようにする。 ・剣道具を装着して、実際に小手面胴を打ち込む ・打突する人は真剣に、打突される側は打ちやすいように等、相手を考えた行動をとれるようにする。	(知識・技能) 簡易試合におけるルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができた。 (思考・判断・表現) 体力や技能の程度等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習や試合のおこない方を見つけた。 (態度) 禁止技を用いず、相手の技能の程度や体力に応じて力を加減するなどの危険予測と危険回避ができた。	○	○	○	10

府中西 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科

保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: 都竹・清水

使用教科書: 現代高等保健体育 (大修館)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深め味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	・体ほぐしの運動 緊張したり、緊張を解いて脱力したりする運動を行い、気持ちい関わりあったりする。 ・実生活に生かす運動の計画 運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めるための運動の計画を立てて取り組む。	(知識・技能) 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながることを理解できる。 (思考・判断・表現) 仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 (態度) 体づくり運動の学習に自主的に取り組み、運動計画を立てるなどの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	6
	ダンス(現代的なリズムのダンス) 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。	・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊る。 ・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊る。	(知識・技能) リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 (思考・判断・表現) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (態度) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	○	○	○	6
	球技(テニス) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作(サーブ・ストローク) ・作戦に応じたゲーム練習	(知識・技能) テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 (態度) 分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	10
	陸上競技(三種競技) 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。	(走) ハードル走 (投) ジャベリックスロー (跳) 走り幅跳び の三種目についての技能の習得と記録会	(知識・技能) 陸上競技で用いられる技術の名称と、記録向上につながる動きのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 動きの習得に適した練習方法を選び、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 (態度) 危険を理解して安全に留意して実施し、勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って活動することができる。	○	○	○	10
	水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	クロール・平泳ぎ ・水をとらえたプルとリズムカルなキックの練習 ・手を前に戻すリカバリーと抵抗の少ない足の引き付けとキック ・50~200m程度の距離を泳ぎながらのコンビネーション	(知識・技能) 水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習したり、計画を立てることができる。 (態度) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	8
2 学 期	器械運動 技ができる楽しさや喜びを味わい、運動の観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技をすることができるようにする。	回転系 接転技群 前転グループ 開脚前転、倒立前転、伸膝前転 接転技群 後転グループ 開脚後転、伸膝後転、後転倒立 ほん転技群 倒立	(知識・技能) 器械運動の技の名称と合理的な動き方のポイント、系統ごとの共通性を理解することができる。 (思考・判断・表現) 技に必要な準備/補助運動を選び、体調や環境に応じた適切な練習方法などについて振り返ることができる。 (態度) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	10
	ダンス(現代的なリズムのダンス) 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。	・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊る。 ・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊る。	(知識・技能) リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 (思考・判断・表現) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (態度) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	○	○	○	12
	球技(バレーボール) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返す ・チームの作戦に応じたゲーム練習	(知識・技能) バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 (態度) 分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	12
3 学 期	体育理論 スポーツの発祥と発展 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解できるようにする。	・スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境	(知識・技能) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 (思考・判断・表現) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 (態度) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について自主的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	陸上競技(長距離走) 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、長距離走の技能を身につけることができるようにする。	時間走を約3000mのタイムトライアル 自己に適したペース走の練習 目標タイムの設定とスピード走の練習と記録会	(知識・技能) 長距離走に必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 (思考・判断・表現) これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 (態度) 自分の役割に主体的に取り組む、練習や競争、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	15
	球技(バスケットボール・バレーボール) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作 ・ゴールの枠内にコントロールするシュート練習 ・チームの作戦に応じたゲーム練習	(知識・技能) バスケットボール・バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (思考・判断・表現) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 (態度) 分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	10
合計							

府中西 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科

芸術 科目 音楽 I

教科: 芸術

科目: 音楽 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: (1組: 横井明子) (2組: 横井明子) (3組: 横井明子) (4組: 横井明子) (5 6組: 横井明子) (7 8組: 横井明子)

使用教科書: (「高校生の音楽1」教育芸術社)

使用教材: (自校作成プリント)

単元の目標:

【知識及び技能】 芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 想像的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

単元名: ()

単元の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。

実施予定: 4 月 2 週 ~ 3 月

	具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)						
							1 組	2 組	3 組	4 組	5 6 組	7 8 組	
第1 時 ・ 第2 時 ・ 第3 時 ・ 第4 時 ・ 第5 時 ・ 第6 時 ・ 第7 時 ・ 第8 時 ・	歌唱 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。	歌唱 ・発声法 ・読譜 ・表現の工夫 ①校歌 器楽 ・奏法の基本 ・読譜 ・表現の工夫 ①ハ長調のメロディー	○	○	○	観察 発表演奏	4/14	4/18	4/16	4/14	4/15	4/18	
第9 時 ・ 第10 時 ・ 第11 時 ・ 第12 時 ・ 第13 時 ・ 第14 時 ・ 第15 時 ・ 第16 時 ・ 第17 時 ・ 第18 時 ・ 第19 時 ・ 第20 時 ・ 第21 時 ・ 第22 時 ・	器楽 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	4/21	4/25	4/23	4/21	4/22	4/25	
第23 時 ・ 第24 時 ・ 第25 時 ・ 第26 時 ・ 第27 時 ・ 第28 時 ・ 第29 時 ・ 第30 時 ・ 第31 時 ・ 第32 時 ・ 第33 時 ・ 第34 時 ・ 第35 時 ・ 第36 時 ・ 第37 時 ・ 第38 時 ・ 第39 時 ・ 第40 時 ・ 第41 時 ・ 第42 時 ・ 第43 時 ・ 第44 時 ・ 第45 時 ・ 第46 時 ・ 第47 時 ・ 第48 時 ・ 第49 時 ・ 第50 時 ・	歌唱 【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解し、他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。	歌唱 ・発声法 ・読譜 ・表現の工夫 ・アンサンブルの基本 器楽 ・奏法の基本 ・読譜 ・表現の工夫 ・アンサンブルの基本	○	○	○	観察 発表演奏	4/28	5/9	4/30	4/28	5/13	5/9	
第51 時 ・ 第52 時 ・ 第53 時 ・ 第54 時 ・ 第55 時 ・ 第56 時 ・ 第57 時 ・ 第58 時 ・ 第59 時 ・ 第60 時 ・ 第61 時 ・ 第62 時 ・ 第63 時 ・ 第64 時 ・ 第65 時 ・ 第66 時 ・ 第67 時 ・ 第68 時 ・ 第69 時 ・ 第70 時 ・ 第71 時 ・ 第72 時 ・ 第73 時 ・ 第74 時 ・ 第75 時 ・ 第76 時 ・ 第77 時 ・ 第78 時 ・ 第79 時 ・ 第80 時 ・ 第81 時 ・ 第82 時 ・ 第83 時 ・ 第84 時 ・ 第85 時 ・ 第86 時 ・ 第87 時 ・ 第88 時 ・ 第89 時 ・ 第90 時 ・ 第91 時 ・ 第92 時 ・ 第93 時 ・ 第94 時 ・ 第95 時 ・ 第96 時 ・ 第97 時 ・ 第98 時 ・ 第99 時 ・ 第100 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	5/12	5/16	5/7	5/12	5/27	5/16	
第101 時 ・ 第102 時 ・ 第103 時 ・ 第104 時 ・ 第105 時 ・ 第106 時 ・ 第107 時 ・ 第108 時 ・ 第109 時 ・ 第110 時 ・ 第111 時 ・ 第112 時 ・ 第113 時 ・ 第114 時 ・ 第115 時 ・ 第116 時 ・ 第117 時 ・ 第118 時 ・ 第119 時 ・ 第120 時 ・ 第121 時 ・ 第122 時 ・ 第123 時 ・ 第124 時 ・ 第125 時 ・ 第126 時 ・ 第127 時 ・ 第128 時 ・ 第129 時 ・ 第130 時 ・ 第131 時 ・ 第132 時 ・ 第133 時 ・ 第134 時 ・ 第135 時 ・ 第136 時 ・ 第137 時 ・ 第138 時 ・ 第139 時 ・ 第140 時 ・ 第141 時 ・ 第142 時 ・ 第143 時 ・ 第144 時 ・ 第145 時 ・ 第146 時 ・ 第147 時 ・ 第148 時 ・ 第149 時 ・ 第150 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	5/19	5/30	5/14	5/19	6/3	5/30	
第151 時 ・ 第152 時 ・ 第153 時 ・ 第154 時 ・ 第155 時 ・ 第156 時 ・ 第157 時 ・ 第158 時 ・ 第159 時 ・ 第160 時 ・ 第161 時 ・ 第162 時 ・ 第163 時 ・ 第164 時 ・ 第165 時 ・ 第166 時 ・ 第167 時 ・ 第168 時 ・ 第169 時 ・ 第170 時 ・ 第171 時 ・ 第172 時 ・ 第173 時 ・ 第174 時 ・ 第175 時 ・ 第176 時 ・ 第177 時 ・ 第178 時 ・ 第179 時 ・ 第180 時 ・ 第181 時 ・ 第182 時 ・ 第183 時 ・ 第184 時 ・ 第185 時 ・ 第186 時 ・ 第187 時 ・ 第188 時 ・ 第189 時 ・ 第190 時 ・ 第191 時 ・ 第192 時 ・ 第193 時 ・ 第194 時 ・ 第195 時 ・ 第196 時 ・ 第197 時 ・ 第198 時 ・ 第199 時 ・ 第200 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	5/26	6/6	5/28	5/26	6/10	6/6	
第201 時 ・ 第202 時 ・ 第203 時 ・ 第204 時 ・ 第205 時 ・ 第206 時 ・ 第207 時 ・ 第208 時 ・ 第209 時 ・ 第210 時 ・ 第211 時 ・ 第212 時 ・ 第213 時 ・ 第214 時 ・ 第215 時 ・ 第216 時 ・ 第217 時 ・ 第218 時 ・ 第219 時 ・ 第220 時 ・ 第221 時 ・ 第222 時 ・ 第223 時 ・ 第224 時 ・ 第225 時 ・ 第226 時 ・ 第227 時 ・ 第228 時 ・ 第229 時 ・ 第230 時 ・ 第231 時 ・ 第232 時 ・ 第233 時 ・ 第234 時 ・ 第235 時 ・ 第236 時 ・ 第237 時 ・ 第238 時 ・ 第239 時 ・ 第240 時 ・ 第241 時 ・ 第242 時 ・ 第243 時 ・ 第244 時 ・ 第245 時 ・ 第246 時 ・ 第247 時 ・ 第248 時 ・ 第249 時 ・ 第250 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	6/2	6/13	6/11	6/2	6/17	6/13	
第251 時 ・ 第252 時 ・ 第253 時 ・ 第254 時 ・ 第255 時 ・ 第256 時 ・ 第257 時 ・ 第258 時 ・ 第259 時 ・ 第260 時 ・ 第261 時 ・ 第262 時 ・ 第263 時 ・ 第264 時 ・ 第265 時 ・ 第266 時 ・ 第267 時 ・ 第268 時 ・ 第269 時 ・ 第270 時 ・ 第271 時 ・ 第272 時 ・ 第273 時 ・ 第274 時 ・ 第275 時 ・ 第276 時 ・ 第277 時 ・ 第278 時 ・ 第279 時 ・ 第280 時 ・ 第281 時 ・ 第282 時 ・ 第283 時 ・ 第284 時 ・ 第285 時 ・ 第286 時 ・ 第287 時 ・ 第288 時 ・ 第289 時 ・ 第290 時 ・ 第291 時 ・ 第292 時 ・ 第293 時 ・ 第294 時 ・ 第295 時 ・ 第296 時 ・ 第297 時 ・ 第298 時 ・ 第299 時 ・ 第300 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	6/9	6/20	6/18	6/9	6/24	6/20	
第301 時 ・ 第302 時 ・ 第303 時 ・ 第304 時 ・ 第305 時 ・ 第306 時 ・ 第307 時 ・ 第308 時 ・ 第309 時 ・ 第310 時 ・ 第311 時 ・ 第312 時 ・ 第313 時 ・ 第314 時 ・ 第315 時 ・ 第316 時 ・ 第317 時 ・ 第318 時 ・ 第319 時 ・ 第320 時 ・ 第321 時 ・ 第322 時 ・ 第323 時 ・ 第324 時 ・ 第325 時 ・ 第326 時 ・ 第327 時 ・ 第328 時 ・ 第329 時 ・ 第330 時 ・ 第331 時 ・ 第332 時 ・ 第333 時 ・ 第334 時 ・ 第335 時 ・ 第336 時 ・ 第337 時 ・ 第338 時 ・ 第339 時 ・ 第340 時 ・ 第341 時 ・ 第342 時 ・ 第343 時 ・ 第344 時 ・ 第345 時 ・ 第346 時 ・ 第347 時 ・ 第348 時 ・ 第349 時 ・ 第350 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	6/16	6/27	6/25	6/16	7/8	6/27	
第351 時 ・ 第352 時 ・ 第353 時 ・ 第354 時 ・ 第355 時 ・ 第356 時 ・ 第357 時 ・ 第358 時 ・ 第359 時 ・ 第360 時 ・ 第361 時 ・ 第362 時 ・ 第363 時 ・ 第364 時 ・ 第365 時 ・ 第366 時 ・ 第367 時 ・ 第368 時 ・ 第369 時 ・ 第370 時 ・ 第371 時 ・ 第372 時 ・ 第373 時 ・ 第374 時 ・ 第375 時 ・ 第376 時 ・ 第377 時 ・ 第378 時 ・ 第379 時 ・ 第380 時 ・ 第381 時 ・ 第382 時 ・ 第383 時 ・ 第384 時 ・ 第385 時 ・ 第386 時 ・ 第387 時 ・ 第388 時 ・ 第389 時 ・ 第390 時 ・ 第391 時 ・ 第392 時 ・ 第393 時 ・ 第394 時 ・ 第395 時 ・ 第396 時 ・ 第397 時 ・ 第398 時 ・ 第399 時 ・ 第400 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	6/23	7/4	7/9	6/23		7/4	
第401 時 ・ 第402 時 ・ 第403 時 ・ 第404 時 ・ 第405 時 ・ 第406 時 ・ 第407 時 ・ 第408 時 ・ 第409 時 ・ 第410 時 ・ 第411 時 ・ 第412 時 ・ 第413 時 ・ 第414 時 ・ 第415 時 ・ 第416 時 ・ 第417 時 ・ 第418 時 ・ 第419 時 ・ 第420 時 ・ 第421 時 ・ 第422 時 ・ 第423 時 ・ 第424 時 ・ 第425 時 ・ 第426 時 ・ 第427 時 ・ 第428 時 ・ 第429 時 ・ 第430 時 ・ 第431 時 ・ 第432 時 ・ 第433 時 ・ 第434 時 ・ 第435 時 ・ 第436 時 ・ 第437 時 ・ 第438 時 ・ 第439 時 ・ 第440 時 ・ 第441 時 ・ 第442 時 ・ 第443 時 ・ 第444 時 ・ 第445 時 ・ 第446 時 ・ 第447 時 ・ 第448 時 ・ 第449 時 ・ 第450 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	7/7	7/11	7/9	7/7		7/11	
第451 時 ・ 第452 時 ・ 第453 時 ・ 第454 時 ・ 第455 時 ・ 第456 時 ・ 第457 時 ・ 第458 時 ・ 第459 時 ・ 第460 時 ・ 第461 時 ・ 第462 時 ・ 第463 時 ・ 第464 時 ・ 第465 時 ・ 第466 時 ・ 第467 時 ・ 第468 時 ・ 第469 時 ・ 第470 時 ・ 第471 時 ・ 第472 時 ・ 第473 時 ・ 第474 時 ・ 第475 時 ・ 第476 時 ・ 第477 時 ・ 第478 時 ・ 第479 時 ・ 第480 時 ・ 第481 時 ・ 第482 時 ・ 第483 時 ・ 第484 時 ・ 第485 時 ・ 第486 時 ・ 第487 時 ・ 第488 時 ・ 第489 時 ・ 第490 時 ・ 第491 時 ・ 第492 時 ・ 第493 時 ・ 第494 時 ・ 第495 時 ・ 第496 時 ・ 第497 時 ・ 第498 時 ・ 第499 時 ・ 第500 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	9/22	9/5	9/3	9/22	9/16	9/5	
第501 時 ・ 第502 時 ・ 第503 時 ・ 第504 時 ・ 第505 時 ・ 第506 時 ・ 第507 時 ・ 第508 時 ・ 第509 時 ・ 第510 時 ・ 第511 時 ・ 第512 時 ・ 第513 時 ・ 第514 時 ・ 第515 時 ・ 第516 時 ・ 第517 時 ・ 第518 時 ・ 第519 時 ・ 第520 時 ・ 第521 時 ・ 第522 時 ・ 第523 時 ・ 第524 時 ・ 第525 時 ・ 第526 時 ・ 第527 時 ・ 第528 時 ・ 第529 時 ・ 第530 時 ・ 第531 時 ・ 第532 時 ・ 第533 時 ・ 第534 時 ・ 第535 時 ・ 第536 時 ・ 第537 時 ・ 第538 時 ・ 第539 時 ・ 第540 時 ・ 第541 時 ・ 第542 時 ・ 第543 時 ・ 第544 時 ・ 第545 時 ・ 第546 時 ・ 第547 時 ・ 第548 時 ・ 第549 時 ・ 第550 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	9/29	9/12	9/17	9/29	9/30	9/12	
第551 時 ・ 第552 時 ・ 第553 時 ・ 第554 時 ・ 第555 時 ・ 第556 時 ・ 第557 時 ・ 第558 時 ・ 第559 時 ・ 第560 時 ・ 第561 時 ・ 第562 時 ・ 第563 時 ・ 第564 時 ・ 第565 時 ・ 第566 時 ・ 第567 時 ・ 第568 時 ・ 第569 時 ・ 第570 時 ・ 第571 時 ・ 第572 時 ・ 第573 時 ・ 第574 時 ・ 第575 時 ・ 第576 時 ・ 第577 時 ・ 第578 時 ・ 第579 時 ・ 第580 時 ・ 第581 時 ・ 第582 時 ・ 第583 時 ・ 第584 時 ・ 第585 時 ・ 第586 時 ・ 第587 時 ・ 第588 時 ・ 第589 時 ・ 第590 時 ・ 第591 時 ・ 第592 時 ・ 第593 時 ・ 第594 時 ・ 第595 時 ・ 第596 時 ・ 第597 時 ・ 第598 時 ・ 第599 時 ・ 第600 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。		○	○	○	観察 発表演奏	10/6	9/19	9/24	10/6	10/7	9/19	
第601 時 ・ 第602 時 ・ 第603 時 ・ 第604 時 ・ 第605 時 ・ 第606 時 ・ 第607 時 ・ 第608 時 ・ 第609 時 ・ 第610 時 ・ 第611 時 ・ 第612 時 ・ 第613 時 ・ 第614 時 ・ 第615 時 ・ 第616 時 ・ 第617 時 ・ 第618 時 ・ 第619 時 ・ 第620													

77)	<p>世界中の若者の間で人気が出てきているeスポーツの実況中継を正しくとらえる。</p> <p>[言語の働き] 質問する, 理由を述べる, 意</p>	<p>Is E-sports a Real Sport?</p> <p>[言語材料] S+V [知覚] +O+ [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O₁+O₂ [if などの節] [その他副教材]・Focus On Listening Elementary・速読英単語(入門編)</p>	○	○	○	○	○	<p>看度をみる。</p> <p>【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。</p>	○	○	○	11	
													合計
													95

777	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。 	<p>to go back.</p> <p>[文法事項] 関係詞</p>			○	○	○	<p>看度をみる。</p> <p>【思考・判断・表現】自分が伝えたいことをまとめて、適切に表現することができるかどうかについて、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や、提出物、自己学習ノートの提出状況などをみる。</p>	○	○	○	6	
													合計
													62

府中西 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

情報

科目 情報 I

教科： 科目： 情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 高等学校 情報 I 第一学習社 ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 ・情報通信ネットワークのしくみ	IDとパス 印刷 共有フォルダへの保存 Oneドライブへの保存 フリーメールとGmailアカウント登録 iPadの使用 名前記入、シリアルNo確認、iPadの使い方、Wi-Fi接続、appleIDの登録と確認 Google Chromeのインストール Office365とTeamsのインストール ストレージ容量、携帯を使ってWi-Fi接続 Office365のアカウントログイン	・パソコン室、個人端末、スマートフォンとの連携がとれるか。 ・ファイルやデータの管理ができるか ・メールや共有フォルダ、投稿など情報データの入出力が自在にできるか	○		○	10
	・情報システムとデータ管理 ・データの分析と活用	Teamsの使い方 Teamsのインストールと使い方 Google Chromeのインストール、検温システム、オンライン受講、課題の受取、Form送信 毎日パソコンタイピング入力(オンライン) メール、情報の収集と整理 タイピング、共有とクラウド環境、オンライン英語教材(英検CAT、ABlish)、	・課題をオンラインで受講し、課題提出できるか。 ・オンラインソフトの活用ができるか。 必要な情報のみを抽出して活用できるか。	○		○	15
	第1章 情報社会の問題解決 ・情報の活用 ・情報モラル	メール、コミュニケーション、データ活用 教科学習 個人情報保護、SNSとモラル	情報に対する正しい判断力があるか 必要な情報を取り出し生かせることができるか。	○	○	○	10
2 学 期	・情報に関する法規や制度	肖像権、知的財産権、著作権、iPadの活用(各種検索)、Teamsの活用(Class Notebookを使っての提出、Oneドライブの共有)	簡単な表計算、プレゼンテーション、文書作成をおこない、クラスノートブックとの連携をはかる。	○	○	○	10
	第2章 コミュニケーションと情報デザイン ・コミュニケーション手段の特徴 ・情報デザイン ・コミュニケーションと効果的なデザイン	iPadの活用(各種検索)、Teamsの活用(Class Notebookを使っての提出、Oneドライブの共有) 効果的に情報を伝えるためのメディアを作成する。	ピクトグラム、ユニバーサルデザインなど作成物で評価する。、	○	○	○	10
3 学 期	第3章 コンピュータとプログラミング ・コンピュータのしくみと働き ・モデル化とシュミレーション ・プログラムと問題解決	webページ作成、プログラミング(ブラウザ)、画像加工、Adobe Creative Cloud Express、2進数と16進数	ブラウザによるパイソンを中心としてプログラミングを行う。 課題解決にプログラミングをどのように利用していくか	○	○	○	15
	合計						

府中西 高等学校 令和7年度（1学年用）教科 総合的な探究の時間 科目 人間と社会

教科：総合的な探究の時間 科目：人間と社会 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（1組：本城）（2組：大塚）（3組：平原）（4組：尾崎）（5組：塚原）（6組：立花）（7組：福井）（8組：都竹）

使用教科書：（人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂版教科書）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○学年集会において、学校生活、進路に関する話を聞き、理解する。 ○自分のクラスについて理解する。 ○校外学習について理解する。 ○S T A R Tの目標について理解する。	オリエンテーション 各クラスでの交流 校外学習ガイダンス					4
	○学校行事について理解する。 ○「学ぶ意義」について考える。 ○「文化の多様性」について考える。	学校行事ガイダンス 教科書「第2章」演習 教科書「第16章」演習					4
	○進路概況、進路活動について理解する。 ○地域防災について考え、理解する ○探究活動の方法について学ぶ ○職業意識を醸成する	進路の手引きガイダンス 地域防災訓練 探究活動ガイダンス 進路ガイダンス					4
	○選択科目についての説明を聞き、理解する。 ○文理選択についての説明を聞き、理解する。 ○進路選択について考える。	選択科目ガイダンス					3
2 学 期	○探究活動により、研究発表の準備を行う。 ○「チームを動かす力」について考える	探究活動の指導 教科書「第8章」					5
	○自分の職業及び学問分野について考える	進路ガイダンス					5
3 学 期	○探究発表を行う ○「グローバル化が進展する社会」について考える	探究活動の指導 教科書「第17章」					5
	○進路に関して、校種及び分野を決定する。	進路ガイダンス					5
合計							35